



熟練の技を持つスタッフ7人。少数精鋭で店を切り盛りしている。

Information

秀光人形工房

〒272-0834 市川市国分6-21-19

TEL 047-373-6700

FAX 047-375-0980

URL <http://www.hinakoubou.com>

E-mail shukoh@hinakoubou.com



型紙や裂地を縫い込む道具は使い込まれて良い味が出ている。

左右対称に重ねの順番を間違えないよう、最後まで気をつかいます。「どんなお嬢さんにかわいがつてもらえるのだろうと、人形の行く先に思いを馳せながら、心をこめていねいに着付けています。飾って眺めるだけでなく抱いて遊んでもいいんですよ。もともと身近に感じて欲しいので、ぜひ手に取って、人形の手を動かしてみてください。

「ださい」と伊東さん。一体一体に込めた愛情がうかがえます。すべてが手づくりのため、年間で200組ほどしかできませんが、ていねいな手仕事こそ、秀光の人形づくりなのです。



雅の世界に思いを馳せ、 華麗に着付けるのが雛人形の醍醐味

Shukoh ningyou kouhou



今年の新作は伊東さんが一目惚れしたこの反物をメインに使う。



パーツを1つずついねいに縫製し、丈夫な人形に仕上げる。



袖をつくっているところ。色の重なりやふくらみにも気を使って仕上げる。



一番重要な襟。胸元のふくらみや重ねの中心線などに気を配る。



殿はどっしりとした風格と力強さを感じる着付けを施す。



飾り付けを施し、完成。最後は頭師がつくる顔をつけて店頭へ。

手間暇かけても
手づくりのこだわり
愛情を込めて
仕上げていく

国分にある秀光人形工房では、ひな人形・五月人形・日本人形を企画、製造、卸、販売しています。人形の美しさにこだわり、顔との柄合い、製造技法をコーディネートし、衣裳の企画、

デザインをトータルで行っています。真っ先に目に飛び込んでくるのは、美しい金糸を織り込んだ裂地きれじ。すべて、伝統工芸着付師の伊東順子さんが京都や岩槻の織元を回り、吟味を重ねて集めてきたものです。人形の衣裳に仕立てられるこれらの裂地は、秀光人形工房が独自に創り出した舞扇雛まいせんびなの気品にあふれた格調高い衣裳へと生まれ変わっていきます。

裂地を、イメージ通りの美しい衣裳パーツに仕上げるのは、ベテランのスタッフ6人です。伊東さんの指示で柄行がらぎ(表に現れる柄)を確認しながら型を取り、一つずつはさみで裁断して縫い合わせていきます。でき上がった衣裳を着付けて仕上げるのは着付人形師の仕事です。袖、襟など、部分ごとに仕上げていくため、